

JC Press



Vol.12

一年間を振り返って 執行部挨拶



副理事長
森戸 勲

2014年度、副理事長として政策系の事業を担当させていただきまして。その中で3つの例会を手掛けさせていただきました。4月3日には市長選討論会を開催しました。「栃木に未来は、あなたが決める」をスローガンとし栃木市の将来を決める大事な首長を決める選挙に少しでも市民の皆様に関心をもって頂けるように設営しました。ケーブルテレビでの生放送も同時に行い沢山の市民の皆様へ選挙の大切さを発信できたのではないかと思います。

5月17、18日には第7回栃木・蔵の街かど映画祭の実行委員として初の第1回栃木・蔵の街かどアワードを担当させて頂きました。多くの作品からグランプリを選び、映画祭の最後を飾りましたアワード授賞式には、沢山の観客が集まって頂き華々しく授賞式を行うことが出来ました。また本例会にはメンバーが全員出席してくださいまして、100%例会を達成することが出来ました。

関係も深めることが出来ました。政策系の委員会は沢山の団体や各関係者の皆様と交流を持ち、何れも打ち合わせしながら新しい事業や良い事業を目指し、常に挑戦していきます。メンバーをはじめ関係者の皆様からのご協力なしでは決して出来ませんので、大変な努力も必要になります。しかしそれが出来る可能性があると思います。無制限にあると思いますし挑戦していかねばいけないと思います。とちぎを素晴らしいものにするために今後も皆さんで頑張ってください。



副理事長
石川 悦史

毎日顔を会わず度に「今日もお疲れ」と挨拶、1週間のうち家族と一緒に時間を共にした執行部地域の未来のためにも達の笑顔のために、寝る間を惜しんで活動したレックライレーンツチャレンジ委員会。やせ我慢ができるカッコ良い男達に囲まれて、沢山の気づきの中から多くの学びをいただいたことに感謝。全ては自分の責任。日々が選択の連続。やせ我慢するもしいいも、理事になるもならないも、例会に出るも出ないも、委員会に出るも出ないも、JCに入会するもしないも、成長したいもしたくないも、楽しくやるもやらないも全ては自分。やると決めたら自分との約束を守って、全力でやろうよ。誰もそんなことは言ってませんが、態度で示してました。みんなかっこいい。

1年間楽しかったです。ありがとございました。お疲れ様でした。



副理事長
水井 正行

2014年度、まちづくり系委員会Bon! de 栃木、美しき街創造委員会、担当副理事長を勤め、改めて振り返ってみると本当に楽しすぎる一年を過ごさせて頂きました。3月の岩舟合併記念例会クリン大作戦に始まり、7月の大人だけの運動会では活動エリアの各地商工会青年部と合同で各地域から参加団体を募り、今までのJCには無いスタンスの例会を開催することができました。こうしたJC以外の団体との繋がりをより強く、より深くしていくことでお互いの組織を理解しあい、今後の様々な活動での連携に繋がっていくことを期待しています。この結びつきは、地域の活性化だけでなく災害等の有事の際にも非常に心強いものです。また10月のとちぎ協働まつりでの「耳で聞くおけけ屋敷」スタイルのとちぎ歴史伝承館、そして12月の卒業式と、地域はもとよりJC内での仲間の結束を強めるたくさんさんの機会を与えて頂きました。まちづくりはひとつたり、ひとつたりは自分ひとり。都市化・核家族化が進むにつれて人と人との結びつきが希薄になりつつある社会の中で、私たちそして次世代の子供たちへ日本にあるべき美しい街を残していきけるように、私たちそしてひとりひとりが努力していかなければならないと改めて考えることができた年でした。今年の活動が美しい街づくりの助となり次のステップに繋がっていくと期待して。

2014年度、大阿久直前理事長のもと研修系の副理事長を経験し、多くの学び、気づきを得ることが出来ました。振り返りますと、栃木青年会議所のメンバーと多くの時間を共有させて頂けたことが、私自身一番の学びだと感じます。反省点としまして、所信にあげた「自己の修練」を私自身、メンバーに伝えることが出来なかったこと。今後、この反省点を活かし、私なりに学んだ事を多くのメンバーに（個人・社会人・JCマン）伝えていけるよう活動していこうと思います。1年間、本当にありがとうございました。



副理事長
五月女 慎人

まずもって、私の文章作成が遅くなってしまう、JCプレス2014年度最終号発行が遅れてしまったことに対して、深くお詫言ひ申し上げます。大阿久直前理事長は私にとって神のような存在です。その神のもとで、1年間共に活動できたことで、自分自身大変勉強になり成長できました。よく役職が人を育てるといいますが、自分はその通りだと思います。先輩からの頼まれごとは試されごととよく言われ、私は今更ですべてYESで引き受けてきました。昨年度も本当にYESで良かったと思っております。

YESSしたから今の自分がある。今の自分があるのも大阿久直前理事長と共に過ごせたからです。



専務専務
森川 剛

一年前半、理事長に専務やってくれと言っていたが、一週間時間をいただき、森戸忠広歴代に毎晩相談しに行き、答えが出ずもう一週間時間をもらい。心震えるお言葉をもらい、決心したのを昨日のように思い出します。自分が何とか専務をやったこれたのも堀江委員長のおかげです。影の専務は堀江です。影のMVP江里口さんです。影のチャンピオンは大塚さんです。そして総務委員会のバンアップ、執行部、理事メンバー、全メンバーがこんなポンコツを盛りたてていただいた一年だったと思えます。

皆さんに言いたい。専務は楽しかった。すごく勉強になった。大きく成長できるチャンスがいっぱいあったみなさんに支えられて最高に楽しい一年でした。今年一年総務広報の一環でいっぱい写真を撮りました。そこには必ず執行部のみんながいて、理事長を囲んでいました。こんなに一緒にいいいんですか？こんなに分かりあっていたいんですか？こんなに気使しいあつていいんですか？